

一般社団法人日本粘土学会 2021 年度第 4 回理事会議事録

日 時：令和 3 年 8 月 21 日（土）15:05～16:45

会 場：Zoom 会議室

出席者：理事（24 名）小暮敏博、千野裕之、中川昌治、佐藤努、會澤純雄、井出悠介、伊藤健一、上原元樹、小口千明、亀島欣一、黒田義之、笹井亮、寒河江竹弘、鈴木正哉、田村堅志、地下まゆみ、手束聡子、中戸晃之、日比野俊行、万福裕造、宮元展議、毛利恵美子、横山信吾、鈴木憲子

監事（2 名）：月村勝宏、志々目正高

理事以外の常務委員（4 名）：川俣純、佐久間博、樽田誠一、森本和也

オブザーバー：岡田友彦

事務局：川島朝子

欠席者：理事（3 名）：鈴木康孝、高木慎介、三好陽子

成立確認：理事総数 27 名の過半数 14 名、出席理事 24 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 2021 年度事業報告（資料 1）

時間の関係で前回理事会より変更があった点について、各担当委員より報告があった。手束庶務委員より、会費未納者リストが示され、今年度分の未納者の中に知り合いがいれば、理事より声かけをして欲しいとの依頼があった。また会員資格停止者（1 名）について、事務局から別途資料を基に説明があった。小暮会長から定款に則り会員資格喪失とすることが提案され承認された。これにより、総会時における今年度の会員数は 328 名に訂正された。また 2 年分の会費を滞納している会員資格停止候補者（6 名）について、今回の会員資格喪失に準じて、会員資格停止とし、来年度も滞納の場合は同様の対応をすることが承認された。さらに今後のためにこの手順について内規に定める必要があると考えられ、次回の理事会で審議をすることとした。以上、2021 年度事業報告案は承認され、総会にかけることにした。

2. 2021 年度収支決算報告および監査報告（資料 2）

伊藤会計委員から、資料を基に前回からの変更について報告があった。参考粘土試料の収入があったこと、また事務費支出があったことが報告され、本決算が承認された。また志々目監事より、監査報告がなされ、2021 年度の事業運営等に問題がないことが報告された。

3. 2022 年度事業計画（資料 3）

小暮会長より 2022 年度事業計画案について理事に意見を求められたが、発言はなく、原案通り、総会にかけることにした。

4. 2022 年度収支予算（資料 4）

伊藤会計委員より、資料をもとに説明があった。今年度との大きな違いは、来年度は役員選挙があるのでその予算を計上しているが、現在選挙の電子化について準備をしており、電子化された場合は計上額より少なくなる可能性があることが報告された。また関連する内容

であったので審議事項8の学術振興基金の今後の運用・積み立てについて（資料7）の説明がなされた。まず会計委員より、一般会計に黒字が出た場合に、その一部を学術振興基金に投資するという規定の変更案が説明され、承認された。またこの黒字は前年度の額を用いるという資料4-2にある2022年度予算案が承認された。

5. 2021年度総会の準備、進行（資料5）

佐藤常務委員長より日時を訂正後、資料をもとに説明があり、ハイブリッドでの開催を予定していることが報告された。また現時点での役割分担について説明があり、承認された。

6. 2021年度表彰式の進行（資料6）

佐藤常務委員長より資料をもとに進行手順について説明があり、承認された。

7. 第64回粘土科学討論会について

樽田実行委員長より口頭発表の最後にリモート発表者のためのセッションを予定していたが、状況の変化を鑑み、すべての口頭発表が現地・リモートのどちらでも発表できるように変更し、これにともないプログラムを一部変更したことが提案され、承認された。

小暮会長より、信州大学の感染対策に準じ、緊急事態宣言が発出されている地域からの入構はできないので、現地参加の人数が極端に少ない場合は、フルリモートとすることが考えられる。その判断については前回の理事会で決定したとおり、会長、副会長、常務委員長、実行委員長の判断に一任されているが、今月末としていた期日を、状況をみて9月3日頃になる可能性が提案された。この状況ではフルリモートとしてもいいのではという発言が出たが、常務委員会案で行くことが承認された。

8. 学術振興基金の今後の運用・積み立てについて（資料7）

本件については、議題4と共に審議された。

9. Clay Science 掲載論文の撤回手続きについて（資料8）

中戸Clay Science編集委員長より、すでに出版されている論文一件と校正中の論文一件について（同一の）著者より論文を撤回したいという申し出があったことが報告された。本会としては初めての案件であり、論文撤回に関する規定もないが、大手出版社の例に習い、今回は撤回（retraction）として申し出を認めることにし、今後の処理の仕方についての案が編集委員長より示され、承認された。

10. 学術著作権協会への管理委託の表示について（資料9）

日比野粘土科学編集委員長より日本語及び英語の原案が説明され、若干の修正を検討した後でしかるべき所に表示することが承認された。

11. 名誉会員の推薦について

佐藤常務委員長より、福嶋会員の推薦について説明があり、黒田会員とともに名誉会員に推薦することが承認された。

12. その他

特になし。

以上、審議の上承認された。

報告事項

特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

令和3年8月23日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事（会長） 小暮 敏博 ⑩

代表理事（副会長） 中川 昌治 ⑩

監 事 月村 勝宏 ⑩

監 事 志々目 正高 ⑩